

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa5580～5760m のトラフに対応する低気圧が千島の東にあって、東北東進。前線が東日本を通り日本海にのびている。前線や低気圧に向かって、下層暖湿気が流入し大気の状態が不安定となっており、西～東日本では、雷を検知し1時間に30mm以上の激しい雨を観測している所がある。
- ② 強い台風第13号が、東シナ海にあって、西北西進。南西諸島や西日本ではうねりを伴い波が高い所がある。
- ③ マリアナ諸島で15日21時に台風第14号が発生し、ゆっくり北上。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、16日夜にはアリューシャンの南に進み、低気圧からのびる前線が18日にかけて東日本付近～日本海西部にほとんど停滞する。前線に向かって日本の南に張り出す高気圧縁辺を回る下層暖湿気が流入し、日射による昇温の影響も加わり、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨が降り、大雨となる所がある。西～東日本では18日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょうに注意。南西諸島では17日にかけて、落雷や突風に注意。
- ② 1項②の台風は、16日午後には華中に進み、17日に熱帯低気圧に変わる。南西諸島や西日本では台風の影響が残り、波が高くなる所がある。南西諸島と西日本では16日は、うねりを伴った高波に注意。
- ③ 1項③の台風は、日本の南を北西に進み、18日には南西諸島に接近する。南西諸島では、台風周囲の下層暖湿気が流入し、雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。また、風が強くなりしけとなる所がある。南西諸島では17～18日は、強風や高波に注意。18日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。西日本太平洋側では18日は、うねりを伴った高波に注意。
- ④ 本州付近は500hPa5880m以上の上空の高気圧に覆われ、西～東日本では18日にかけて、晴れて気温が上昇し、最高気温が35℃以上の猛暑日となる所がある。熱中症に注意(熱中症警戒アラート参照)。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで)：沖縄4、九州北部・奄美3m。
- ③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。南西諸島、西～東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。